

### 国際こどもの日イベント

### 自分の気持ちを発表する & 自分達で献立を考えよう!



表彰状を頂きました



職員から選ばれた子供たち



終了後に文具のプレゼントが渡されました

皆様こんにちは。日本では梅雨明けをして、暑さが到来している頃でしょうか。カンボジアでは激しい雨が降っても傘をさす習慣がありません。子どもたちは寄附で頂いた防水仕様の鞆を使い教科書や文具が濡れないように工夫をして、登校するようになりました。雨でも元気に登校しています。

今回のドリーム通信では国際こどもの日のイベント、国旗降納時に子どもたちがみんなの前で気持ちを発表、子どもたちで献立を考える取り組みを開始したことをお伝えしたいと思います。

### 国際こどもの日イベント

カンボジアでは6月1日の国際こどもの日にイベントが行われています。中学校では成績優秀者や普段の生活態度が良い子が表彰をされるのですが、園からは中学3年生のスダン、スレイネ、ソモン、中学2年生からサイハー、サイハーンが全校生徒の前で表彰をされました。そして園のあるポーサット州でもこどもの日をお祝いをするイベントがありました。園での手伝いや勉強を頑張っている子5人を保母さん達に選んで貰い、中学2年生のトゥオン、ヴィサール、ポー、中学1年生のティダー、小学2年生のスレイモイが参加をしてきました。

今年はポーサット州内にある孤児院の中から8団体・総勢100名の子どもたちが集まってイベントが開催されました。他の孤児院から参加している子の中には、途中飽きて遊んでしまったり寝てしまっている子もいたのですが、その子ども達に対して園の子が注意をする姿を見たり、しっかり話を聞いている姿を見て職員としてとても安心しました。

普段は園のルールが厳しいと思っている子が多くいます。しっかり話を聞く姿勢や、挨拶やお礼を言う事が園の外で当たり前前にできていることは、社会に出ても必要な習慣が園での生活の中で身に付いている結果だと思えます。今回のイベントに引率をして他の孤児院の子どもの様子をほんの少しですが見る事ができました。



毎日3名が発表します



前日の発表者がクジをひきます



グループみんなで献立を考えます



計画した献立と購入後の領収書

園の子どもたちが園の外でも恥ずかしくない行動が出来るようこれからも指導をしていきたいと思ひます。

## その日の気持ちを発表

新たな取り組みの一つとして、夕方の国旗降納時にその日1日を振り返り自分の気持ちをみんなの前で発表する時間を設けました。その日の発表者はクジ引きで決定をしているので誰が呼ばれるかは分かりません。発表内容は楽しかった事・嬉しかった事、悲しかった事・残念だった事に決めました。そして職員の名前も、もちろんクジの中にあります。職員は子どもたちが園内の仕事や手伝い、勉強を頑張っていて嬉しかったこと等を名前を挙げて発表するので、名前が挙がった子は嬉しそうにしています。子どもたちからはその日の授業がよく理解できて嬉しかった。友達とボールで遊んで楽しかった。調理を沢山手伝うことができて嬉しかった。授業の内容が難しくあまり理解出来なくて残念だった。等がよく出てきます。

毎日子どもたちが書いている日記はその日の活動報告を書く子が多く、出来事に対しての自分の気持ちを書く事の習慣がありませんでした。今はその日の中で何か一つ楽しかったことが言えるように振り返る習慣もできるようになってきています。今後は明日の目標も考えて、有言実行ができるように工夫をしながら続けて行きたいと思ひます。

## 子どもたちで献立を考える

もう一つの新たな取り組みとして、6月より各グループごとに子どもたちで献立を考える取り組みを始めました。毎週金曜日の昼食・夕食・土曜日の朝食、計3食分を交代で考えています。この取り組みの目的は調理に必要な食材を知る事、限られた予算で献立を決める事、いったいどれだけのお金が食費に使われているかを知る事です。その日によって市場では食材の金額が変動もあるので、保母さん達からのアドバイスを参考に考えていきます。嫌いなおかずは食べない・いつも同じメニューで飽きる等、保母さんに調理を任せていた時は、子どもたちからのワガママな意見が出たりしていました。自分たちで考え、調理をする事で毎日の食事を用意する事の大変さを実感する事はもちろんですが、皆様から寄附をして頂いている大切なお金から食費を使っている事を子どもたちにしっかりと心に留めて欲しいと思ひます。子どもたちが卒園してから、自炊生活をするようになった時保母さん達に教わった料理や好きな献立を自分で考えて園での生活を思い出しながら調理をして欲しいと思ひます。